

活用するスマート農業技術

自動操舵トラクタ（直進アシスト）



新たな生産の方式

旋回スペースの確保、走行路の下枝の剪定

りんごにおいて、自動操舵トラクタの旋回スペースを確保するとともに、走行路上の下枝等を剪定することで、当該トラクタの作業効率を向上させる。

## <申請者>

株式会社 大成園（青森県弘前市）

経営概況（2026年6月時点）

経営規模：りんご6ha

従業員数：4名

## <対象品目>

りんご

## <計画の実施期間>

5年間

## <活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

## <生産方式革新事業活動のイメージ 等>



大成園 石岡代表



自動操舵トラクタ

## ～認定を受けて一言～

りんご栽培における労働力不足や作業負担の軽減に対応し、次世代へ園地を引き継いでいくため生産方式革新実施計画を作成しました。認定を契機に、岩木山の麓で受け継いできたりんご園を守りながら、無理のない計画で少しずつスマート農業に対応した園地づくりを進めていきます。作業の省力化により栽培基盤を安定させるとともに、将来的には自園地のりんごを活かしたシードル事業などの6次産業化にも取り組み、生産から加工・販売までを見据えた安定した経営体制を整えていきたいと考えています。次世代へ続くりんご経営を目指し、青森のりんご産業の発展にも貢献してまいります。